



エントリーシートの書き方



小白川キャンパス キャリアサポートセンター

みなさん、こんにちは。この資料では、エントリーシートの書き方の基本についてお伝えします。

全体の内容

1. エントリーシートについて

2. 自己PR

3. 学生時代に力を入れたこと

4. 志望動機



本テキストの全体の流れになります。エントリーする際は、エントリーシートまたは履歴書を作成し、提出する必要があります。この資料では、提出書類の内容としてよく聞かれる「自己PR」、「学生時代に力を入れたこと」、「志望動機」の3点について記載のコツをお伝えします。

1. エントリーシートについて

**選考にあたり、事前にエントリーシート
または履歴書を作成し、受入先企業に提出する**

＜主な記入内容＞

- ・ 住所、学歴、資格
- ・ 自己PR
- ・ 学生時代について
- ・ 志望動機



出所) リクルートキャリア 就職みらい研究所 (2019) 「就職白書2018」

最初にエントリーシートについて説明します。エントリーシートは、選考を前提に提出する書類になります。これは履歴書よりもより詳しい内容について問われます。また選考先によって独自の質問などがあります。エントリーシートの入手方法や提出方法は、各企業のホームページに記載されており、入手方法は、エントリー後のホームページから入手できたり、会社の説明会で訪問した際に入手したりと様々です。参考ですが、エントリーシートを手書きする場合は、作成時間に113分、ウェブでの提出の場合は、77分を要します。そのため、余裕を持って作成するようにしましょう。

もし大学指定の履歴書で提出を求められた場合は、山形大学の履歴書（様式）がありますのでご利用ください。

（ダウンロードの方法）

求人検索NAVIのお知らせ画面から「山形大学 履歴書PDF 山大マーク入り」がダウンロードできます。「履歴書」のPDFファイルには、名前や住所、学歴など以外の設問として3つのパターンが入っています。

パターン1：志望の動機、研究課題、学業以外に力を注いだこと

パターン2：私の特徴、研究課題・学業以外に力を注いだこと

パターン3：資格・免許・特技、研究課題、学業以外に力を注いだこと

印刷は、自宅のプリンターやコンビニ等のネットプリント等を使用し、各自でお願いいたします。また、小白川キャリアサポートセンターには印刷した履歴書がありますので希望の方にお渡ししています。

また、求人検索NAVIの「就職活動体験記」に、自分が選考を受ける企業等のエントリーシートの設問がどのような内容であったか記載されている場合があります。求人検索NAVIのトップ画面の求人MENU「就職活動体験記検索」から確認できますので、ぜひチェックしてみてください。

1. エントリーシート作成の注意点



文章作成の基本的なマナー（1）

- ① 記入する際は、黒or濃紺のペン書きで
- ② 失敗したら書き直す。修正液などは使わない
- ③ 記入漏れがないようにする
- ④ 何度か確認し、誤字・脱字がないかチェック
- ⑤ 数字を使用する際は統一して使用する
- ⑥ シミ・汚れがついてしまったら書き直す
- ⑦ 文末に（笑）、絵文字・顔文字は使わない
- ⑧ 文字は、丁寧に大きな文字で書く
- ⑨ 話し言葉ではなく、書き言葉で書く

エントリーシート作成に当たっては、最低限の文章作成マナーは意識してください。主に手書きで作成する上でのポイントを9つご紹介します。特に、エントリーシートを指導していると、④と⑥と⑧と⑨は実際によく目につく点です。④は、ミスがないように誰か別な人に見てもらおうようにしましょう。または、一旦、間をおいて（例えば一晩寝かせて）、読み直すとよいでしょう。⑥は、机の上に飲み物を置いて作成する場合、気づかないうちにシミがついているケースがあるので注意してください。⑧は、殴り書きで書いている学生がいます。また字が小さすぎて読めないケースがあります。上手い下手ではなく、読み手を意識し丁寧に書くことを心がけてください。⑨は、よくあるケースとして、「なので」や「ということ」など、話し言葉で書いている点です。この場合は、接続詞として、「このような」、「このように」、「そのため」となりますので、注意してください。

1. エントリーシート作成の注意点



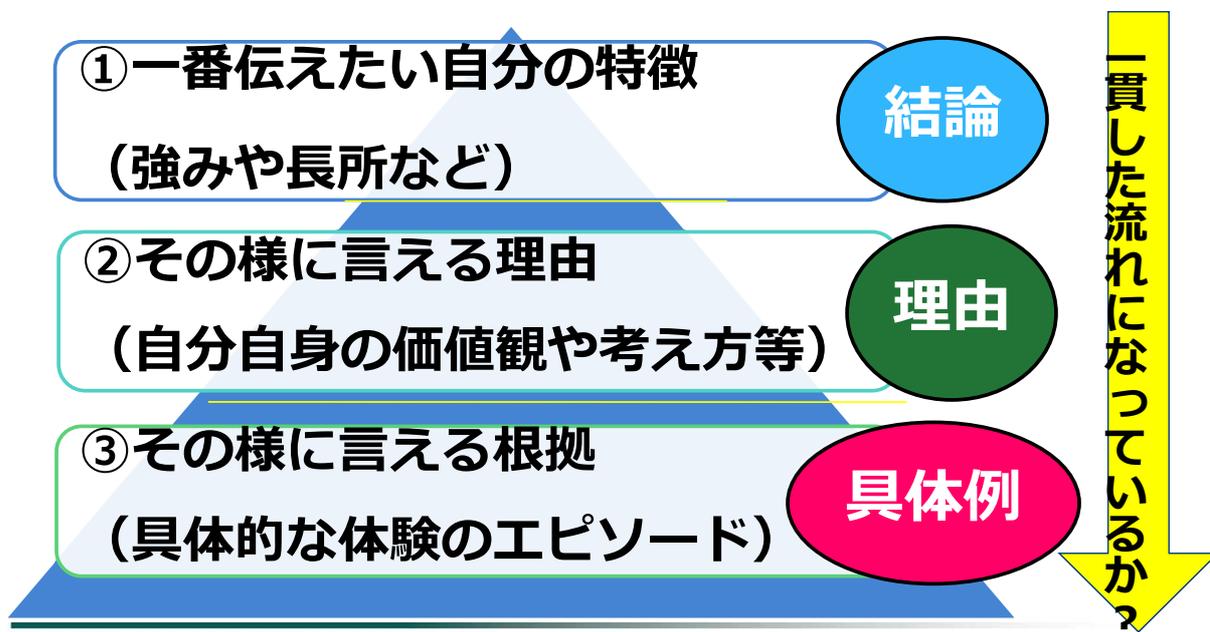
文章作成の基本的なマナー（2）

- ① 結論→理由→具体例の文章構成を意識する
- ② 伝えたい要素を複数盛り込まず、できるだけ1つか2つに絞って端的に表現する
- ③ 内容に一貫性があるかをチェックする
- ④ 誰にでも書ける一般論は駄目。体験の大小ではなく具体的なエピソードを交えて書く
- ⑤ 奇をてらったキャッチフレーズ等は要注意
- ⑥ 書いたものを一度見てもらう。できれば大人（社会人）に見てもらうとよい

エントリーシートを作成する際は、読み手を意識し、読みやすい文章構成を意識することが重要です。上記は文章構成（論理構成）のポイントになります。①は「結論」「理由」「具体例」の3つのフレーズは、何度も声に出すことで自然に意識できるようになります。②は、野球で例えるなら、得意な持ち球1つで勝負する（たくさんの球種があったとしても、特に自分の得意な持ち球で勝負するようにしましょう）。③と④は、ストーリー（物語）になっているかが、重要なポイントです。話を聞いて映像が浮かんでくるような内容であればOKです。⑤は、インパクトよりもコンパクトにすることがポイントになります。奇をてらうより、読みやすいコンパクトな文章の方が印象に残ります。できるだけ等身大の自分らしさを伝えるようにしましょう。

2. 自己PRを作成するポイント

自己PRの構成要素を3つに分解



自己PRは、「一番伝えたい自分の特徴」、「理由」、「具体例」で構成されているため、構成要素を3つに分解して考えるとよいでしょう。文字数が限られているため、根拠となる具体例は、1つに絞った内容にしてください。チェックする際のポイントは、図の構成要素が一貫した流れになっているか確認してください。具体的な体験のエピソードには、他者からの評価やフィードバックなどの客観的な視点、「以前より今は〇〇が向上した」というような自分の成長を数値で示せるものを記載するとように工夫してください。

2. 自己PR：長所や強みの例

- 責任感がある
- 向上心がある
- 努力家である
- 計画を立て、実行することができる
- 周りの状況をよく見て冷静に判断できる
- 物事に積極的に取り組むことができる
- 諦めずに努力することができる
- 決めたことを最後までやり遂げる
- 自分の意見をわかりやすく伝える
- 主体的に物事に取組むことができる
- 相手の意見を丁寧に聴くことができる



補足として、自己PRを書く際の長所や強みの例について紹介します。参考にしてください。

2. 自己PRを作成するポイント：先輩の事例

結論の部分

私は、周囲の友人や仲間から「聞き上手」とよく言われます。じっくりと相手の話に耳を傾け、相手の状況や気持ちをよく理解することが信頼関係を築きやすくなるからです。

大学のサークルでは、〇〇に所属し、働く人の〇〇に関するインタビューを〇名の方に行ってきました。最初は、自分の知りたいことばかり質問し、表面的なインタビューになってしまい、上手くいきませんでした。そこで、態度や表情などを意識し、話しやすい雰囲気を作りました。また、具体的な話が聞けるように質問を工夫するようにしました。その結果、とても話やすかったと満足してもらうことが多くなりました。この経験から、今では普段の会話でも聞くことを意識して、関わるようにしています。

理由の部分

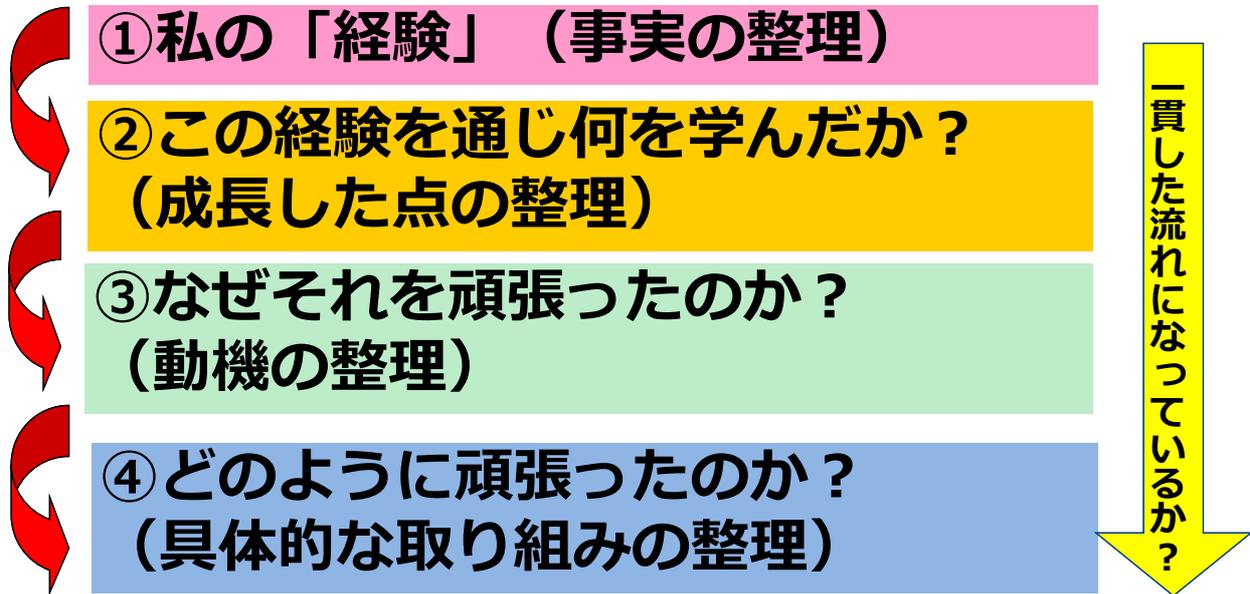
具体例の部分

310文字

先輩の自己PR事例を紹介します。先輩の事例を読み、「自己PR」をイメージすると記載しやすくなるかと思います。参考までに、ぜひ、参考にしてみてください。

3. 学生時代に頑張ったことを作成するポイント

学生時代について内容の構成要素を4つに分解



次に学生時代に頑張ったこと(力を入れて取り組んだこと)を、学生の間では「ガクチ力」と言うそうです。自己PRと同じく構成要素を分解すると4つになります。チェックする際は、図の構成要素が一貫した流れになっているか確認することがポイントです。

3. 学生時代に頑張ったことを作成するポイント：先輩の事例

事実の整理

私は、3年間サークル活動に取り組みました。この活動を通じて、あきらめず努力すれば結果につながることを学びました。サッカー未経験だった私は、学生時代を楽しく過ごせたらと気軽な気持ちでフットサル・サークルに所属しました。練習するうちに自分自身もプレイヤーとして上手になりたいと思うようになりましたが、なかなか実力が付かず、モチベーションが下がった時期もありました。しかし途中で投げ出すのが嫌だったため、自主的に体力づくりを日々のトレーニングメニューに入れ努力しました。そして、知り合ったメンバーを招いて練習試合を企画したりなど、切磋琢磨できる環境を自ら作りました。その結果、大学2年生の時には、主力メンバーとして、地元の大会で入賞できるまでの力をつけることができました。

成長した点の整理

動機の整理

具体的な取り組みの整理

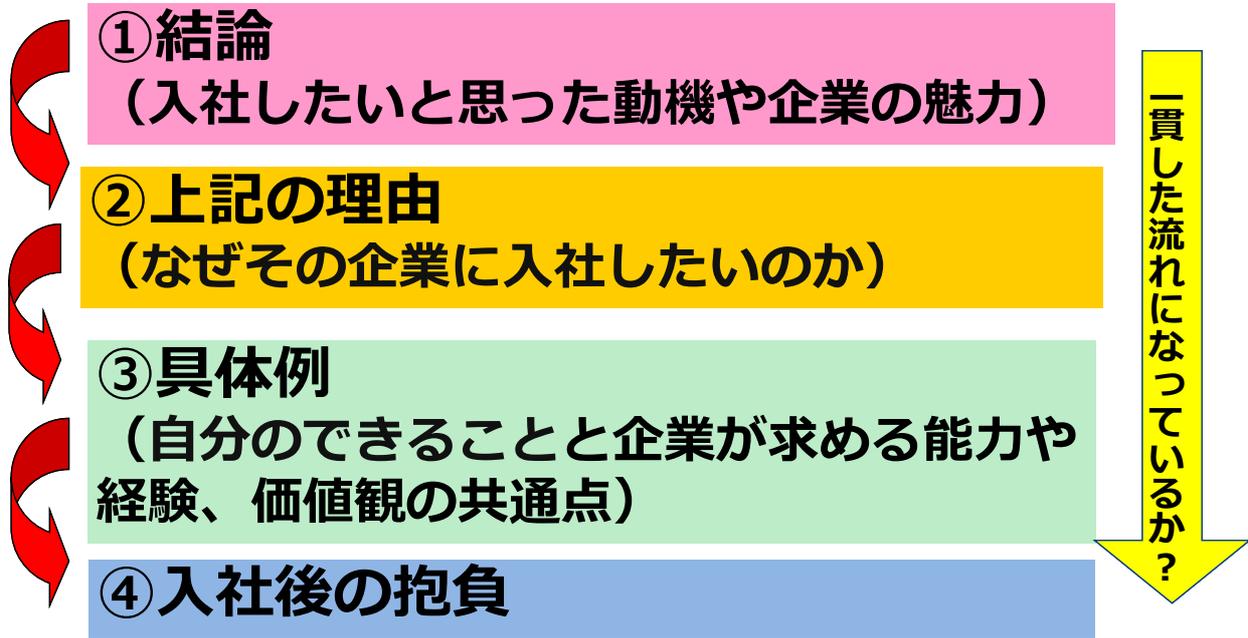
331文字

10

先輩の学生時代に頑張ったことの事例を紹介します。PR事例を紹介します。先輩の事例を読み、「学生時代に頑張ったこと」をイメージすると記載しやすくなるかと思います。ぜひ、参考にしてみてください。

4. 志望動機を作成するポイント

志望動機の構成要素を4つに分解



志望動機は、「結論（入社したいと思った動機やその企業の魅力）」、「理由（なぜその企業に入社したいのか）」、「具体例（自分のできることや経験と企業が求める能力や経験などの共通点）」、「入社後の抱負」で構成されます。構成要素を4つに分解して、考えるとよいでしょう。文字数が限られているため、根拠となる具体例は、1つに絞った内容にしてください。また、チェックする際のポイントは、図の構成要素が一貫した流れになっているか、チェックするとよいでしょう。

採用担当者が読んで、「この人に会ってみたい」「一緒に働きたい」と思わせる志望動機になることを目指してください。そのためにも、企業説明会で印象に残った点や同業他社との企業研究を通して知った企業の魅力や企業の強みを意識した内容などを盛り込むようにしてください。最初の結論部分に、ホームページをそのまま引用したり、福利厚生が魅力だと記載している方がいますが、「意欲」が感じられず、採用者の目にとまりにくいと言えます。

志望動機では、「なぜ当社なのか」という点が問われるため、この企業にエントリーする自分なりの理由を記載するようにしましょう。また、自分の能力や経験、価値観が企業の求める人物像や希望職種と共通する内容を具体例に入れると説得力が増し、自分らしい志望動機につながります。志望動機は、面接の最終選考まで聞かれる内容ですので、何度も記載し、声に出して読んで推敲を重ねましょう。

履歴書に記載する志望動機は全体のバランスを踏まえ、基本的には300字前後が適切な文字数の目安です。これをベースに指定の文字数に対し、削ったり肉付けしたりしてボリュームを調整しましょう。

4. 志望動機を作成するポイント：先輩の事例①

企業説明会で、〇〇の医療機器に特化した技術開発について、若手社員の方がイキイキと話されている点に魅力を感じ、志望しました。〇〇の医療機器が多くの人の健康を支えることに私自身もやりがいを感じるからです。私は子供の頃、〇〇という病気だったことから、大学では〇〇に関する専門を学び、〇〇の研究をテーマに卒業研究を行う予定にしています。基礎分野を学ぶなかで、〇〇に関する技術が医療分野への応用の可能性が広がることを知り、これまで学んだ知識や今後取り組む研究プロセスが生かせるのではないかと感じました。最新の知識・技術を追求しながら、より使いやすく、高性能な製品の開発が広く普及されるように貢献していきたいと考えています。

結論

理由

具体例

抱負

304文字

12

先輩の志望動機事例を紹介します。先輩の事例を読み、「志望動機」をイメージすると記載しやすくなるかと思います。ぜひ、参考にしてみてください。

4. 志望動機を作成するポイント：先輩の事例②

貴社は、流通業を軸に広く地域社会の基盤となる事業を展開されており、様々な事業に挑戦できることに魅力を感じ、志望致しました。私自身も地域を支える仕事に誇りをもって仕事をしたいと考えているからです。

結論

理由

私は、大学1年生から3年間、地域のフィールドワークサポーターとして取り組みました。自分の経験を通して後輩にアドバイスを行ったり、困りごとを聞いて対処法を一緒に考えることを通して、傾聴力を身につけました。また、毎年地域の方との交流を通して、地域の課題を解決していきたい気持ちが強くなりました。入社後は、様々な業務に挑戦し、地域の生活が便利になり、地域が活性化するような事業展開の一翼が担えるように尽力していきます。

具体例

抱負

301文字

13

もう1つ先輩の志望動機事例を紹介します。先輩の事例を読み、「志望動機」をイメージすると記載しやすくなるかと思います。ぜひ、参考にしてみてください。